

データベース「世界と日本」(代表：田中明彦)
日本政治・国際関係データベース
政策研究大学院大学・東京大学東洋文化研究所

[文書名] 韓國併合に關する件（韓国併合に関する件）

[場所]

[年月日] 1909年7月6日

[出典] 日本外交年表竝主要文書上巻，外務省，315
- 316頁

[備考]

[全文]

明治四十二年三月三十日總理へ提出
同年七月六日閣議決定
同年同月同日御裁決
(本書ハ内閣ニ在リ寫ハ電信課長保管)

帝國ノ韓國ニ對スル政策ノ我實力ヲ該半島ニ確立シ之カ把握ヲ嚴密ナラシムルニ在ルハ言ヲ俟タス日露戰役開始以來韓國ニ對スル我權力ハ漸次其大ヲ加ヘ殊ニ一昨年日韓協約ノ締結ト共ニ同國ニ於ケル施設ハ大ニ其面目ヲ改メタリト雖同國ニ於ケル我勢力ハ尙未タ十分ニ充實スルニ至ラス同國官民ノ我ニ對スル關係モ亦未タ全ク満足スヘカラサルモノアルヲ以テ帝國ハ今後益同國ニ於ケル實力ヲ增進シ其根底ヲ深クシ内外ニ對シ爭フヘカラサル勢力ヲ樹立スルニ努ムルコトヲ要ス而カシテ此目的ヲ達スルニハ此際帝國政府ニ於テ左ノ大方針ヲ確立シ之ニ基キ諸般ノ計畫ヲ實行スルコトヲ必要トス

第一、適當ノ時機ニ於テ韓國ノ併合ヲ斷行スルコト
韓國ヲ併合シ之ヲ帝國版圖ノ一部トナスハ半島ニ於ケ

ル我實力ヲ確立スル爲最確實ナル方法タリ帝國力内外ノ形勢ニ照ラシ適當ノ時機ニ於テ斷然併合ヲ實行シ半島ヲ名實共ニ我統治ノ下ニ置キ且韓國ト諸外國トノ條約關係ヲ消滅セシムルハ帝國百年ノ長計ナリトス

第二、併合ノ時機到來スル迄ハ併合ノ方針ニ基キ充分ニ保護ノ實權ヲ收メ努メテ實力ノ扶植ヲ圖ルヘキコト

前項ノ如ク併合ノ大方針既ニ確定スルモ其適當ノ時機到來セサル間ハ併合ノ方針ニ基キ我諸般ノ經營ヲ進捗シ以テ半島ニ於ケル我實力ノ確立ヲ期スルコトヲ必要トス

(引用書一日韓合邦一件)

對韓施設大綱

韓國ニ對スル帝國政府ノ大方針決定セラレタル上ハ同國ニ對スル施設ハ併合ノ時機到來スル迄大要左ノ項目ニ依リ之ヲ實行スルコトヲ必要ナリト認ム

第一、帝國政府ハ既定ノ方針ニ依リ韓國ノ防禦及秩序ノ維持ヲ擔任シ之カ爲ニ必要ナル軍隊ヲ同國ニ駐屯セシメ且出來得ル限り多數ノ憲兵及警察官ヲ同國ニ増派シ十分ニ秩序維持ノ目的ヲ達スル事

第二、韓國ニ關スル外國交渉事務ハ既定ノ方針ニ依リ之ヲ我手ニ把持スル事

第三、韓國鐵道ヲ帝國鐵道院ノ管轄ニ移シ同院監督ノ下ニ南滿洲鐵道トノ間ニ密接ナル連絡ヲ付ケ我大陸鐵道ノ統一ト發展ヲ圖ル事

第四、成ルヘク多數ノ本邦人ヲ韓國內ニ移植シ我實力ノ根底ヲ深クスルト同時ニ日韓間ノ經濟關係ヲ密接ナラシムル事

第五、韓國中央政府及地方官廳ニ在住スル本邦人官吏ノ權限ヲ擴張シ一層敏活ニシテ統一的ノ施政ヲ行フヲ期スル事